

# 2018年10月「現代詩セミナー」報告

日時 2018年10月27日（土）午後2時～4時30分

場所 永福町 ル・リエール

1回目の「現代詩セミナー」は現代詩とは何か、現代詩の流れを把握するという2面の視点から現代詩を捉え直してみようという趣旨のセミナーで、その主旨に沿った冒頭の話に白田様に依頼した。何時間議論しても網羅的に捉え切れる課題ではないことを100も承知で、20分を超えない範囲での話として下さいとお願いした。

話は持参されたレジメ「現代詩の現況」に沿って、現在にいたる現代詩の流れや、現代詩と呼ばれる詩の実情について、丁寧に語られた。

レジメに沿った白田さんの話の後、質問や疑問に思っていることなどの意見交換では、かなり解放された雰囲気の中で参加者の自由な発言が続き、セミナーの佳境に入ることになった。休憩を挟んで、現代詩というものについて、或はその言葉にもとらわれない詩というものについて、の意見交換に進むことになった。そこでの参加者からの発言は実にさまざまで、各自の抱えている課題そのものが語られた感がある。また詩とは何かという本命の課題に向かう議論もあって、このサロンの狙いである「参加者各自が一步踏み込んだところでの意見交換」の場となった。

この日のサロンの為に、司会進行役をお願いした佐相憲一理事には、実に行き届いた采配で、始まりから会終了までの流れを引き立てて頂いた。（文責：天野 英）



司会進行役の佐相憲一さん

セミナー冒頭の話をする  
白田雅之様



冒頭の話聞く参加者

**2018年10月「現代詩セミナー」参加者（順不同・敬称略）**

城沢恵子、小野ちとせ、大和友子、志村 奏、宮本苑生、酒木裕次郎、坂木昌子、立原一洋、土倉公子、三宅 一、倉田武彦、川中子義勝、天野 英、佐相憲一、白田雅之、曾我貢誠、谷口典子